

作りやすい年でしたね



山岸 忠士さん
(夏井・51歳)

ことしは8月中の天候に恵まれ、日中はやや高温、夜は涼しくなるという条件的には最高の年だったようだね。おまけに水の管理もうまくいったし、実肥えのタイミングも合ってた作りやすかったようだ。それに収量的にも昨年より多いみたいで、ホント、うれしいねエ。

平均して増収だったね



草野 伸一さん
(栄・38歳)

ことしの作柄は例年に比べると良かったですね。ちょうど稲の穂が出るころに好天が続き、おまけに雨も適当に降ったので自然条件はいい年だったと思います。そのせいか、早生ものも奥手のものもことしは平均して増収ができた感じです。

茎数が少し心配でしたが



木村 一浩さん
(原・28歳)

初期の低温の影響で茎数がとれず苦労しました。でもその後の天気まわりがよく、いい感じでもち直しましたね。そのうえ、ことしは水の管理などがうまくいったせいか、収量的にも上出来の年だったと思います。

個人の部

| 順位 | 収量 | 部落 | 出品者 |
|-----|--------|----|-------|
| 1位 | 683 kg | 夏井 | 山岸 忠士 |
| 2位 | 653 | 栄 | 草野 伸一 |
| 2位 | 653 | 北野 | 山岸 秀恵 |
| 4位 | 651 | 北野 | 八木 主幸 |
| 5位 | 647 | 西中 | 竹内 巧 |
| 6位 | 643 | 北野 | 堀越 誠 |
| 7位 | 642 | 高畑 | 野水 作一 |
| 8位 | 641 | 西中 | 吉谷 照雄 |
| 8位 | 641 | 北野 | 八木 正行 |
| 10位 | 638 | 夏井 | 山上 強 |
| 10位 | 638 | 原 | 木村 一浩 |

(敬称略)



ことしはコシヒカリの収量を競う「うまい米づくり生産推進競作会」が先月十六日、村民東体育館で開かれました。大会には村内各地区から自慢のコシヒカリ百三十七点が出品され収量を競い合いました。ことしは、春先(育苗時期)の天候には恵まれたものの、田植え後の異常低温などで初期の成育が大幅に遅れました。しかし七月下旬からの登熟期(実のなりはじめる時期)や刈り取り期にかけて再び好天に恵まれ、順調に育ちました。作柄は全般的にみると、稲穂数が少ないため平均と比べるとやや不良ですが、品質的には申し分のない年でした。ところで最高収量は、六百八十三キロと昨年にはちょっと及ばなかったものの、平均収量(五百八十三キロ)では昨年来七キロも上回りました。それでは、競作会の上位の成績をご紹介します。

| 団体の部 | | | |
|------|--------|----------|--------------------------------------|
| 順位 | 団体名 | 平均収量 | 出品者 |
| 1位 | 夏井Bチーム | 621.6 kg | 阿部 武徳、阿部 松栄 山上 佐一郎、山岸 忠士 山上 久栄 |
| 2位 | 北野Aチーム | 618.2 | 堀越 暉一、萩野 保 八木 主幸、八木 正行 山岸 光雄 |
| 3位 | 西中Aチーム | 612.8 | 山田 守、山田 清 山田 勝英、竹内 巧 本間 秀基 |
| 3位 | 西中Bチーム | 612.8 | 吉谷 照雄、大平 征夫 山田 善哉、堀部 一男 杉山 重光 |
| 5位 | 栄 Aチーム | 611.4 | 草野 伸一、草野 剛 難波 保、坂田 雄二 青柳 道夫 |
| 6位 | 北野Bチーム | 608.0 | 萩野 佐七、中村 吉男 山岸 進、堀越 勇 山岸 秀恵 |

(敬称略)

秋はやっぱり笑顔だね!

「その日、その時、すぐ始末」をキヤンペーンテーマに、今月二十六日から来月一日まで「秋の火災予防運動」が県下一斉に展開されます。みなさんの家庭でもなおいっそう「火の元」には注意してくださいね。

ところで、みなさんの生命や財産を瞬間にして奪う恐ろしい火災は、ほんのちよつとした不注意や気のゆるみから起きています。これは、裏返すと「ちよつとした注意」をすれば未然に防げるということです。起きてからではもう遅いのです。火災防止は一人ひとりの防火意識が重要なポイントです。

秋の火災予防運動

10月26日から11月1日まで

その日、その時、すぐ始末!

みなさんもこの機会にもう一度「ふだんの火の取り扱い」に、気のゆるみはないか、チェックしてみてください。また火災予防運動期間中は、午後七時に警鐘を打ち鳴らし「火の用心」を呼びかけますので、ご協力ください。



最近また役場や消防署の名をかたり、不正に消火器を押し売りする悪質な販売者がいます。不審な訪問販売にはくれぐれもご注意ください。

水産業の国勢調査

漁業センサスにご協力ください



わが国の漁業の実態を明らかにして今後の水産行政に役立てる「第八次漁業センサス(全数調査)」が十一月一日現在で行われます。対象の漁業者のみなさんには今月二十日過ぎごろに調査員が調査に伺いますので、ご協力ください。漁業センサスのお問い合わせは、役場商工観光課(☎82-411-1内線131)へ。

ご利用ください 中小企業のための産業育成資金

申込みは毎月12日まで
中小企業のみなさんのため、村では毎月「地方産業育成資金」の貸付を行っています。お店の繁栄のため大いにご利用ください。なお資金の申請は毎月十二日(金融機関休業日の場合は前日)までに、巻信用組合岩室支店か和納支店へどうぞ。

くわしくは、岩室村商工会(☎82-3309)へお問い合わせください。

「写真は語る」 復活編



「写真は語る」——久々の登場です。別に途中でやめた(昨年の十月号まで三十一回掲載)わけではないのですが、資料の提供が少なくなったなどで、一時中止をしていました。でも先日、和納二区の池上寅吉さんから「うちにこんな写真があるんだが」と情報提供をいただきましたので、ここに紹介しましょう。



池上 寅吉さん
(和納2区・74歳)

に行く)のため男手のなくなった家の田植え作業を手伝うために「八幡前勤労奉仕班」として町内の各家庭から一人ずつ割当て動員されて結成されたものだと思います。残念ながら、わたしは出征していたためここには写っていないのですが、いま思うと、当時の田植えは人手が何よ

りも大切なため、こんな奉仕班ができたのではないだろうか。ただいづころまで、こんなふうにはやっていたのかは分かりませんが、この写真から当時の様子がうかがえますね。ところで、当時の奉仕活動といえは、そりゃ、大変でしたよ。でもその反面、町内の助け合いというか、いまでいうコミュニケーションといった、人と人とのつながりは、しっかりといて、いまとは比べものにならないですね。これを見ると、辛くいやな思い出も多けれど、人と人の交流はいい状態だったと思いますね。

(池上寅吉さん談)